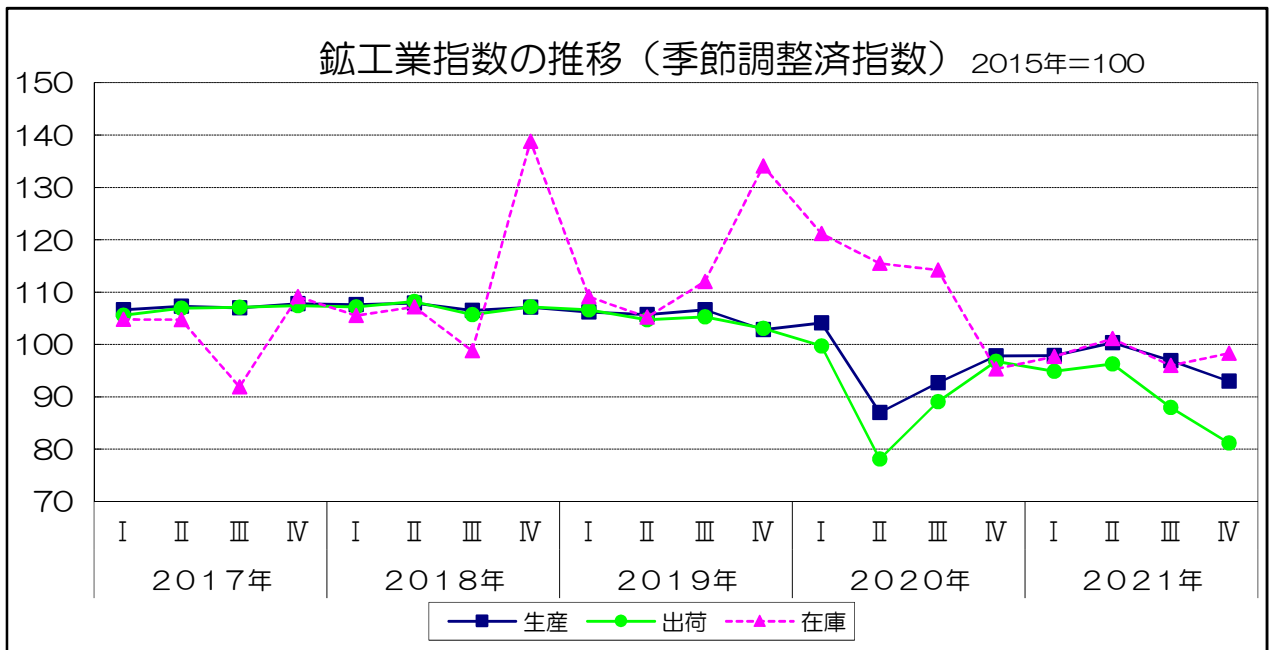


# 令和3年福岡県鉱工業指数の動向

## 1 概況

(1) 業種別動向（全19業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

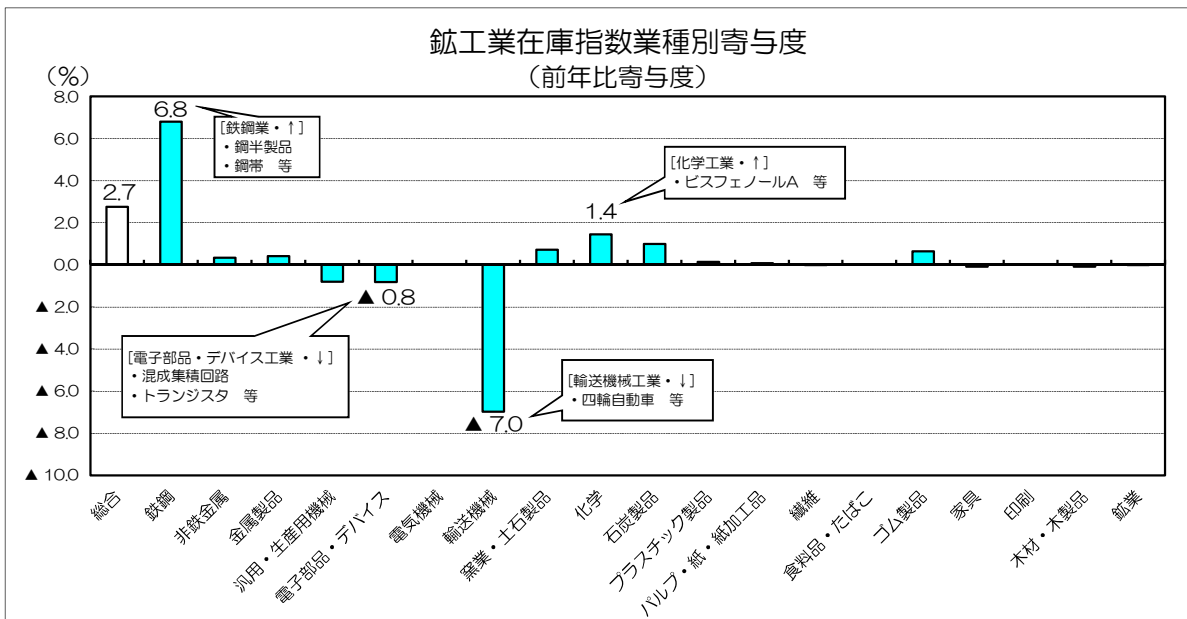
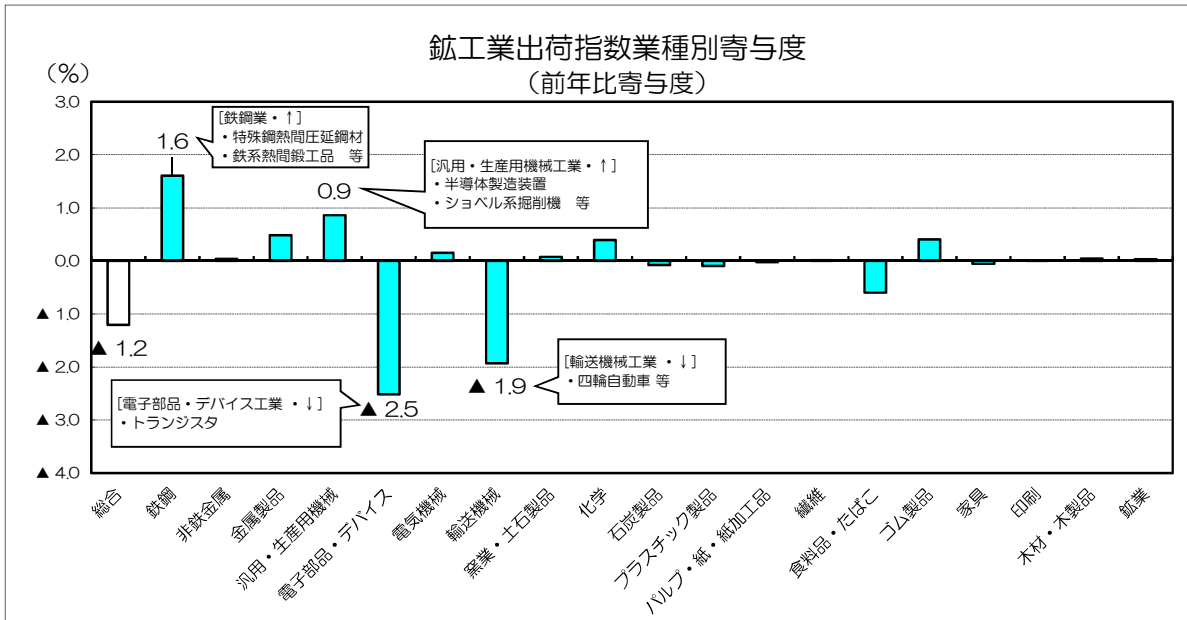
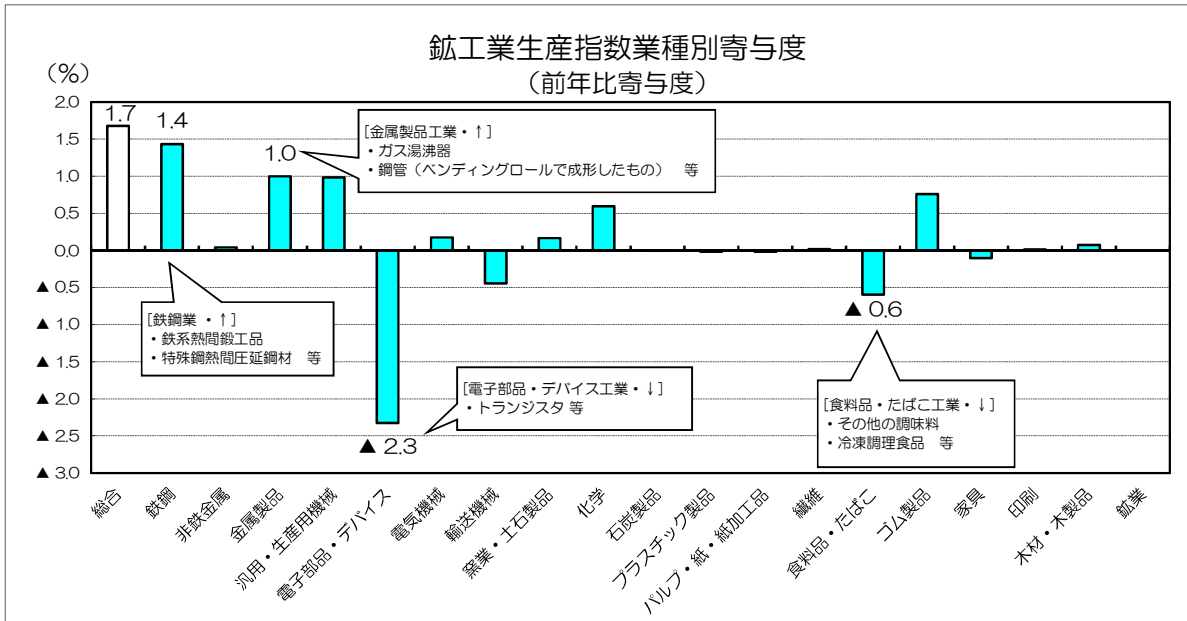
- ① 生産  
2021年の生産指数は97.0で、前年比1.5%増と3年ぶりの上昇となった。  
業種別では、電子部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業など7業種が低下したものの、鉄鋼業、金属製品工業など12業種が上昇した。
- ② 出荷  
2021年の出荷指数は90.1で、同1.2%減と3年連続の低下となった。  
業種別では、鉄鋼業、汎用・生産用機械工業など12業種が上昇したものの、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など7業種が低下した。
- ③ 在庫（全18業種）  
2021年の在庫指数は101.0で、同2.9%増と2年ぶりの上昇となった。  
業種別では、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など7業種が低下したものの、鉄鋼業、化学工業など10業種が上昇した。



鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2021年			
						I	II	III	IV
生産	107.1	107.4	105.1	95.6	97.0	97.9	100.3	96.9	93.0
前期(年)比	4.3	0.3	▲2.1	▲9.0	1.5	0.1	2.5	▲3.4	▲4.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.8	16.8	4.6	▲6.1
出荷	106.7	107.2	104.9	91.2	90.1	94.9	96.3	88.0	81.2
前期(年)比	4.1	0.5	▲2.1	▲13.1	▲1.2	▲2.0	1.5	▲8.6	▲7.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.3	24.4	▲0.7	▲17.1
在庫	104.7	135.8	136.9	98.2	101.0	97.7	101.1	96.0	98.3
前期(年)比	2.6	29.7	0.8	▲28.3	2.9	2.5	3.5	▲5.0	2.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲19.3	▲11.0	▲15.6	2.9



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

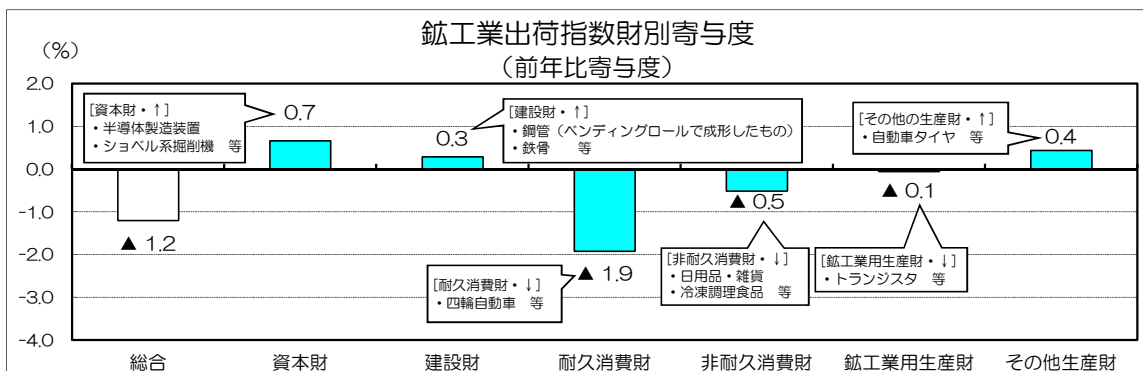
(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

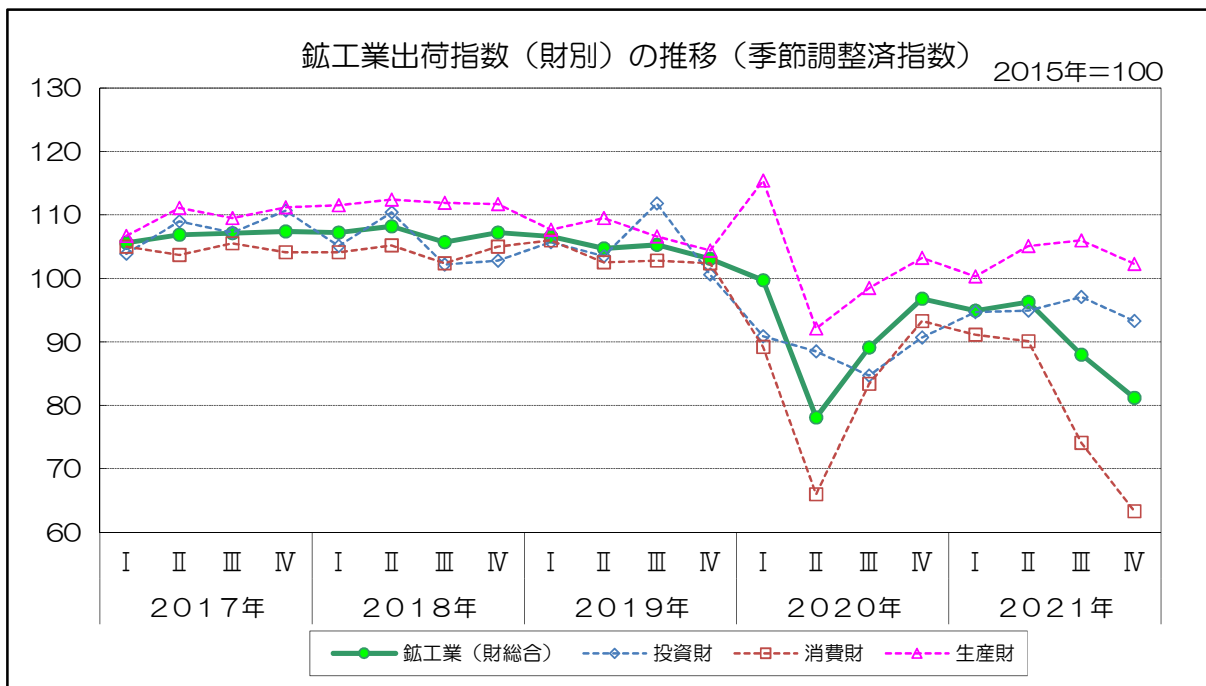
- 総合出荷指数は90.1で、前年比1.2%減と3年連続の低下となった。最終需要財は同2.6%減と4年連続の低下となった。生産財は同0.8%増と3年ぶりの上昇となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、半導体製造装置、シヨベル系掘削機などが上昇したため、同9.3%増と4年ぶりの上昇となった。  
建設財は、鋼管（バンディングロールで成形したもの）、鉄骨などが上昇したため、同4.1%増と2年ぶりの上昇となった。  
耐久消費財は、四輪自動車などが低下したため、同5.9%減で3年連続の低下となった。  
非耐久消費財は、日用品・雑貨、冷凍調理食品などが低下したため、同3.3%減で5年連続の低下となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、トランジスタなどが低下したため、同0.5%減と3年連続の低下となった。  
その他の生産財は、自動車タイヤなどが上昇したため、同7.9%増と3年ぶりの上昇となった。

鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数） 2015年=100

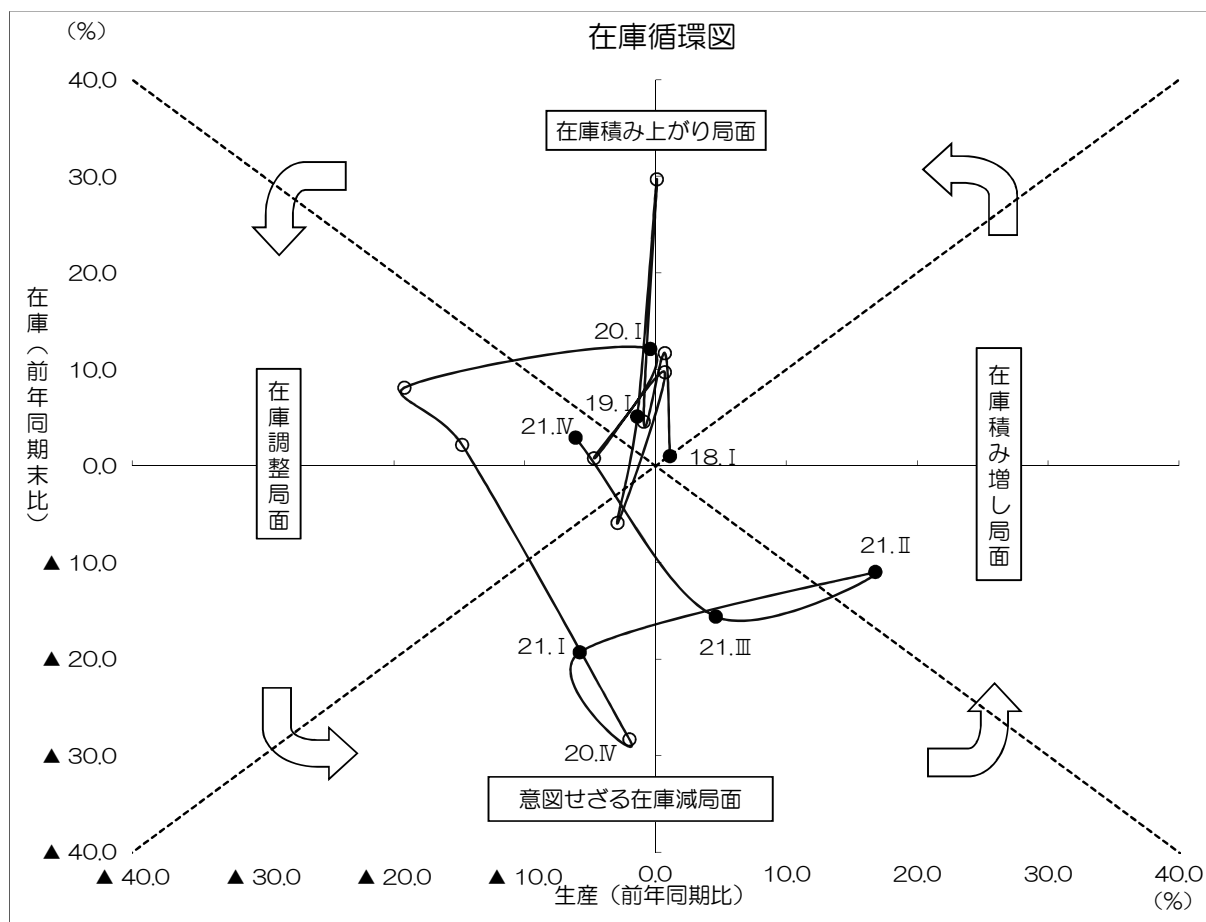
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	I	II	III	IV
鉱工業総合	106.7	107.2	104.9	91.2	90.1	94.9	96.3	88.0	81.2
前期（年）比	4.1	0.5	▲2.1	▲13.1	▲1.2	▲2.0	1.5	▲8.6	▲7.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.3	24.4	▲0.7	▲17.1
最終需要財	105.0	104.4	103.7	84.8	82.6	91.7	91.4	78.5	69.3
前期（年）比	2.3	▲0.6	▲0.7	▲18.2	▲2.6	▲1.3	▲0.3	▲14.1	▲11.7
前年同期比	—	—	—	—	—	3.9	31.0	▲6.5	▲26.7
投資財	107.8	105.2	104.8	88.8	95.2	94.7	94.9	97.1	93.3
前期（年）比	5.4	▲2.4	▲0.4	▲15.3	7.2	4.4	0.2	2.3	▲3.9
前年同期比	—	—	—	—	—	4.0	7.6	16.2	2.0
資本財	109.5	105.8	104.1	86.3	94.3	93.5	94.0	97.1	91.9
前期（年）比	8.3	▲3.4	▲1.6	▲17.1	9.3	5.9	0.5	3.3	▲5.4
前年同期比	—	—	—	—	—	6.5	7.1	24.2	1.3
建設財	105.3	104.3	105.9	92.7	96.5	96.1	97.0	95.7	96.5
前期（年）比	1.1	▲0.9	1.5	▲12.5	4.1	3.1	0.9	▲1.3	0.8
前年同期比	—	—	—	—	—	0.4	8.2	5.3	3.1
消費財	104.4	104.2	103.5	83.8	79.5	91.1	90.1	74.1	63.3
前期（年）比	1.7	▲0.2	▲0.7	▲19.0	▲5.1	▲2.4	▲1.1	▲17.8	▲14.6
前年同期比	—	—	—	—	—	3.8	38.8	▲11.9	▲33.2
耐久消費財	105.0	106.4	105.4	80.1	75.4	91.1	91.1	68.2	52.9
前期（年）比	2.9	1.3	▲0.9	▲24.0	▲5.9	▲2.7	0.0	▲25.1	▲22.4
前年同期比	—	—	—	—	—	6.9	74.5	▲15.2	▲45.0
非耐久消費財	102.9	98.9	98.8	92.7	89.6	91.3	88.9	89.0	89.1
前期（年）比	▲1.6	▲3.9	▲0.1	▲6.2	▲3.3	1.9	▲2.6	0.1	0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.3	▲3.6	▲5.1	▲0.5
生産財	109.7	112.0	106.9	102.7	103.5	100.3	105.1	106.0	102.3
前期（年）比	7.2	2.1	▲4.6	▲3.9	0.8	▲2.8	4.8	0.9	▲3.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲15.2	16.2	8.2	▲1.0
鉱工業用生産財	112.5	115.1	109.3	106.9	106.4	103.7	108.4	108.8	104.5
前期（年）比	8.5	2.3	▲5.0	▲2.2	▲0.5	▲2.6	4.5	0.4	▲4.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲17.0	17.4	7.0	▲2.6
その他用生産財	95.9	97.2	95.2	82.7	89.2	84.5	89.0	92.2	90.8
前期（年）比	0.4	1.4	▲2.1	▲13.1	7.9	0.6	5.3	3.6	▲1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.6	9.7	17.3	8.3



※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



(3) 在庫循環図（2018年1～3月期から2021年10～12月期）  
 在庫循環状況を見ると、2021年は「意図せざる在庫減局面」から「在庫積み増し局面」へ推移し、その後「在庫調整局面」へと推移している。



※在庫循環図の見方  
 横軸に生産、縦軸に在庫の前年同期（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。  
 一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。